

記入例

第16回印刷産業環境優良工場表彰応募票 — 第1次審査用 —

平成 年 月 日

一般社団法人日本印刷産業連合会
会長 山田 雅義 殿

応募会社：所在地 ●●県●●市●●●●●●—●●—●●
会社名 ●●印刷株式会社
代表者役職名 ●●●●●●
代表者名 ●●●●●●



応募工場		所属団体	全日本印刷工業組合連合会
工場代表者名		回	部署 役職
応募工場 所在地	〒	答	氏名
		者	電話
			mail
用途地域(いずれかに○)	工業専用・工業・準工業・商業・ その他 ()	工場操業 年月	年 月
従業員数 (該当する ものにそれぞ れ○)	会社全体 (臨時社員・パート等含まず) 1～19人 20～29人 <u>30～49人</u> 50～99人 100～299人 300～ 499人 500～999人 1000人以上	応募工場 (臨時社員・パート等含まず) <u>1～19人</u> 20～29人 30～49人 50～99人 100～299人 300人以上	
主な工程 (該当するもの 全てに○)	<u>製版・刷版</u> オフ枚葉印刷 オフ輪印刷 <u>デジタル印刷</u> フォーム印刷 シール 印刷 グラビア印刷 (ラミネーション含む) スクリーン印刷 光沢加工 仕上げ工程 <u>製本・折り</u> ・製函・抜き・断裁・スリッター・製袋・コレクター		
主な製品	<u>カタログ、パンフレット、チラシ、ポスター、名刺、書籍等</u>		
部門選択 (注1)	(1) <u>一般部門</u> 条件なし) (2) 小規模事業所振興部門 (条件：工場従業員 29 人以下かつ企業全体 49 人以下)		

(注1) 小規模事業所振興部門を設置しています。部門別に選考いたしますので、どちらか希望の部門に○をつけて下さい。

※従業員数には、臨時社員・パート等は含みません。

次頁以降もご回答の上、本応募票を下記までご送付下さい。
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8
一般社団法人日本印刷産業連合会 環境表彰担当
(お問合せ電話 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079)
※E-mailの場合は、押印済みのものをPDFにして下記にお送り下さい。
info.dm@jfdpi.or.jp
<締切 平成29年2月3日>

本応募票は、印刷産業環境優良工場表彰制度に応募するためのものです。本応募票記載内容について厳正・公平に審査し、環境配慮に優秀な工場には第2次審査のための応募票提出についてご連絡いたします。

貴工場につきまして、応募の動機、特徴、アピール点をご記入の上、以降の設問に対し該当するもの全てに○を付けてご提出下さい。

なお、本応募票の選択肢は、会社の規模、業種、該当工程等を考慮せず、各団体別に対策として考えられるものを網羅的にあげています。貴工場として本来対策の必要のないもの、規模的に困難なものも入っておりますので、該当箇所のみ○をつけていただければ結構です。選考は、会社の規模、業種、該当工程、操業年数等を考慮して行われます。

1-1. 環境優良工場として応募の動機、特徴及びアピールしたい点をご記入下さい。

<応募の動機>

当社の環境・社会貢献活動を業界内外に広く周知するとともに、企業として環境経営のレベルアップを図ることを目的に、印刷産業環境優良工場表彰に応募しました。

<特徴>

工業地域に立地し周辺に住宅が密集している中、排水管理・騒音・振動など周辺地域への対応にも配慮しています。

<アピール点>

環境マネジメントシステムの ISO14001 認証・G P工場認定を取得することで、環境負荷を低減させる仕組みを社内に構築し、作業環境の改善にも努めています。

作業の「見える化」や CO2 排出抑制のための設備投資も積極的に行い、CO2 排出量の 40%削減、損紙・金属缶の回収率を 100%とすることに成功しました。

また温暖化防止・省エネへの取り組みが認められ、2015年に●●市主催の「省エネ促進大賞」を受賞しました。

アピールポイントになりますので、企業の取り組みや実績について、数値や認証の名称・受賞歴など具体的に記入して下さい。

1-2. 本表彰制度への過去応募状況を全てご記入下さい。

初めて応募します。

2. 貴工場で行っている次の基本的環境配慮について、現在までに行っているもの全ての記号に○を付けて下さい。(後の選択肢と重複有り)

- (ア) 事務所等からの排出物の分別・リサイクル (イ) コピー用紙等の裏面利用
(ウ) 封筒の再利用 (エ) 照明・空調・水道等の省エネ (掲示等)
(オ) 古紙のリサイクル (カ) 共通パレットの利用 (キ) アイドリングストップ掲示
(ク) 環境方針の策定・掲示 (ケ) 工場周辺の清掃 (コ) 構内緑化

3. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで周辺環境対策(法的等対策を中心に)で行ったもの全ての記号に○を付けて下さい。

[]内はいずれかに○、< >内はその他があればご記入下さい。

①大気汚染防止関連

*「製版・刷版」あるいは「仕上げ工程」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) VOC処理装置の導入 [処理方法は? : 回収・燃焼] (イ) 水性インキ化
 (ウ) UVインキ化 (エ) 水なし印刷 (オ) 湿し水のIPAレス化 (カ) 溶剤・洗浄剤の容器蓋取り付け (キ) 自動洗浄作業(クローズ化や浸込み布使用) (ク) 無溶剤型ラミネーターの設置 (ケ) VOC拡散防止カーテン設置 (コ) インキパンカバー
(サ) 無溶剤型光沢加工機の設置 (シ) UV塗料化 (ス) PP貼りサーマルフィルム化
(セ) 焼却炉の撤廃 (ソ) 燃料転換 [現在の使用燃料は? : A重油(特A含む)・B重油・白灯油・LPG・LNG] (タ) NOX・SOX発生抑制対策
その他< >

②水質汚濁防止・土壌汚染防止関連

*「仕上げ工程」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) 水濁法特定施設(製版、刷版装置)の排水処理装置設置 [排水の放流先は? : 河川・下水道] (イ) 排水のクローズドシステム導入 (ウ) 廃液保管場所の防液堤設置
(エ) 事故対策(土嚢等の配備) (オ) 油水分離装置設置
(カ) 生活排水(単独/合併浄化槽)処理 (キ) 下水道排水の水質測定
(ク) 土壌汚染対策 [内容は? : 地下タンクの漏えいチェック・地面への浸透防止床・廃棄物置き場の屋根付き化・その他_____]
その他< >

③騒音・振動防止関連

*「製版・刷版」のみの工場は回答する必要がありません

- (ア) 敷地境界の騒音・振動測定 (イ) 建物への遮音材・吸音材施工 (ウ) 無窓化
(エ) 二重窓化 (オ) 機械への防音カバー (カ) 遮音カーテンの設置 (キ) 防振対策
(ク) 送風機/ダクトの消音対策 (ケ) コンプレッサー対策 (コ) 夜間作業の禁止
(サ) 電動フォークリフト採用 (シ) 騒音防止手順書とチェック実施
その他< >

④悪臭防止関連

- (ア) 敷地境界臭気確認(定期パトロール) (イ) 消臭装置導入 (ウ) 排ガス処理装置導入
(エ) 排出口での臭気測定 (オ) 水性表面加工剤の採用 (カ) 水性インキの採用
 (キ) UVインキの採用 (ク) ホットメルト油煙処理装置設置
その他< >

⑤廃棄物管理関連

- (ア) 廃棄物分類の文書化と実施 (イ) 廃棄物処理業者との契約 (ウ) 廃棄物業者への視察 (エ) 有価物(古紙等)業者との契約 (オ) マニフェスト照合確認
(カ) マニフェスト交付状況の報告(年1回行政へ報告) (キ) 廃棄物保管場所の掲示
(ク) 特別管理産業廃棄物対策 [次のそれぞれのいずれかに○:特管物→有・無、
管理者→有・無、保管場所→施設有り・施設無し] (ケ) 事故対策(土嚢等の配備)
その他< >

⑥その他周辺環境対策

- (ア) 地盤沈下対策 (イ) 景観の配慮 (ウ) 構内緑化の推進 (エ) 屋上緑化の推進
(オ) 電波障害対策 (カ) 低周波対策
その他< >

4. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで広域的環境対策を行ったもの全ての記号に○をつけて下さい。

[]内はいずれかに○、< >内はその他があればご記入下さい。

①地球温暖化防止関連

- (ア) 省エネ活動の掲示(電気、照明) (イ) エネルギー使用量の経年把握
(ウ) 使用エネルギー量目標設定 (エ) 燃料の代替化(重油から都市ガス化等)
(オ) 照明の人感センサー導入 (カ) 省エネ照明導入 (キ) 省エネ空調設備導入
(ク) 照明・空調施設の節約管理 (ケ) オフィス使用機器の省エネ化
(コ) 自動車燃料使用削減策 (サ) アイドリングストップ掲示 (シ) 低公害車使用
(ス) 最大積載量に見合った輸送単位の設定 (セ) 製造機械・設備の省エネ化 [内容は? : インバータ採用・圧縮エア集中管理・局所空調導入・チラーの省エネ化・廃熱再利用(グラビア印刷/オフ輪印刷用)・不使用補助機の切り離し・その他_____]
(ソ) デジタル印刷機の省エネ運転 (タ) 太陽光発電装置(太陽光パネル等)導入 (チ) グリーン電力証書購入 (ツ) ピークカット
(テ) デマンド・コントロール (ト) 省エネ診断実施 (ナ) カーボンオフセットへの取組
(ニ) カーボンフットプリントへの取組 (ヌ) フロン排出抑制
その他< >

②環境汚染物質削減・化学物質関連

- (ア) 製版フィルムレス化 (イ) 水なし印刷導入 (ウ) 湿し水IPAレス化
(エ) IPA濃度管理 (オ) 洗浄剤の環境配慮(塩素系、フロン系からの代替使用)
(カ) GP認定洗浄剤の使用 (キ) PTR法対象物質(ジクロロメタン、トルエン、キシレン等)からの切替
(ク) RoHS等への対応 (ケ) 水性タイプインキ・接着剤への切り替え
その他< >

③省資源・持続可能な資源利用、長期使用関連

- (ア) 印刷見本デジタル化 (イ) デザインデジタル化 (ウ) デジタル原稿入稿推奨
(エ) 校正のデジタル化(平台校正機、本機等による校正紙印刷の削減)
(オ) 植物油インキ・大豆油インキへの切り替え (カ) 植物由来フィルムへの切り替え
(キ) 被印刷体の薄葉化・薄肉化 (ク) 湿し水濾過装置の導入

(ケ) 版改良によるインキ・溶剤の使用量削減 (コ) 長期使用印刷製品への PP 貼り提案
(サ) 節水管理 (シ) 作業・設備改善によるロス削減 (ス) 通い函の利用
その他< >

④廃棄物削減、再使用、リサイクル推進、処理処分の容易性推進

(ア) 再生紙の積極的利用 (イ) 損紙の削減 (ウ) 予備紙の削減 (エ) 損紙等の紙へのリサイクル (古紙の細分類化) (オ) 剥離紙、抜きカス、損紙等の R P F 化
(カ) 品質検査システムの導入 (キ) フィルム等廃プラ (P P バンド、ストレッチフィルム) のリサイクル (ク) 印刷版 (P S 版) のリサイクル (ケ) インキ缶のリサイクル
(コ) インキパイピングシステム (サ) インキの再利用
(シ) トナー等容器、感光ドラム等のリユース・リサイクル (ス) 製品のリサイクル容易化推進 (複合材の見直し等) (セ) リサイクル対応型 H M (難細裂化 EVA 系、PUR 系) 使用 (ソ) リサイクル対応型シール使用 (タ) 溶剤の再利用
(チ) ソルベント (洗浄剤) のリサイクル (ツ) 排気ガス等回収溶剤のリサイクル
(テ) 詰替え容器化 (ト) 容器の再利用 (ナ) 紙管の再利用
(ニ) レンタルウェス・再生ウェスの使用 (ヌ) 包装材の再利用 (ワンプやダンボール等)
(ネ) 再生包装材 (ダンボールや再生 P P バンド) の利用 (ノ) 過剰包装の排除
(ハ) パレットの修繕・再利用 (ヒ) ゼロエミッションの達成
その他< >

⑤その他広域的環境対策

(ア) ペットボトルキャップ回収 (イ) 省エネ型自動販売機の導入
その他< >

5. 貴工場の環境配慮のうち、作業環境対策について行ったもの全ての記号に○をつけて下さい。< >内はその他があればご記入下さい。

(ア) 作業環境測定 (イ) 化学物質のリスクアセスメント
(ウ) VOC 警報器の導入 (エ) 作業員への騒音対策
その他< >

6. 貴工場の環境配慮のうち、現在まで環境経営上の対策で行っている全ての記号に○を付けて下さい。< >内はその他があればご記入下さい。

①環境法規制の遵守

(ア) 適用される法規制の把握 (イ) 遵法チェックシステム維持

②環境負荷改善活動関連

(ア) 環境負荷 (電力、燃料、廃棄物) 数値把握 (イ) 環境負荷低減目標設定
(ウ) 環境方針策定 (エ) 環境配慮資機材購入方針策定 (オ) GP 資機材認定製品使用
(カ) 環境配慮資機材購入実績把握 (キ) 国内クレジット制度への参加
(ク) 日印産連自主行動計画参加 (VOC 排出削減、循環型社会、低炭素社会)
(ケ) 森林保全活動への参画
その他< >

③グリーン製品等関連

(ア) 印刷製品の環境配慮基準策定 (イ) 環境配慮印刷製品の提案

- (ウ) G Pマーク表示 (エ) クリオネマーク表示 (オ) バタフライマーク表示
(カ) リサイクル対応型印刷物の推進 (キ) F S C表示 (ク) P E F C表示
(ケ) オリジナルグリーン製品の開発 (コ) オリジナルグリーン製品の販売
その他< >

④環境情報の公開

- (ア) 環境報告書の発行 (イ) C S Rレポート発行
 (ウ) 環境方針等ホームページでの公開 (エ) 環境関連広報誌等の外部発行
その他< >

⑤社内体制

- (ア) 環境委員会（活動の組織表、責任者、事務局等）等の設置
 (イ) 5 S活動の推進 (ウ) 環境教育の推進 (エ) 作業環境体制の整備
(オ) 緊急時のBCP（事業継続計画）導入
その他< >

⑥周辺住民等に対する活動

- (ア) 工場周辺の清掃 (イ) 工場の公開・見学会
その他< >

7. 貴工場の環境認証等の取得状況について、該当の記号全てに○を付けて下さい。

< >内はその他があればご記入下さい。

- (ア) I S O 1 4 0 0 1（環境マネジメントシステム）認証登録（取得年 2007年）
 (イ) グリーンプリンティング工場認定
(ウ) エコアクション21認証登録
(エ) クリオネマーク認証登録
(オ) バタフライマーク登録
(カ) 化学物質管理認証（CMS）
(キ) F S C（C o C）認証
(ク) P E F C（C o C）認証
(ケ) 地方自治体の「環境マネジメントシステム」認証登録
その他< >

－以上です－